大栄地区小中一貫教育準備委員会

委員会だより

２０１７．１０．１５
【第　６　号】
成田市教育委員会
準備委員会事務局

～準備委員会等の活動報告～

今年度、初めてとなる第３回大栄地区小中一貫教育準備委員会を８月８日に開催しました。また、教育委員会では、年度当初の４月から５月にかけて大栄中学校及び大須賀小、桜田小、前林小、津富浦小、川上小の大栄地区５小学校において保護者説明会を開催し、準備委員会での検討状況等についての説明を行いました。

そのほか、第２回準備委員会において了承いただいた、大栄みらい学園の校章案を大栄中学校の美術部に作成してもらうことについて、美術部より６つの案が提出されましたので、第３回準備委員会にて協議を行いました。

それらの活動状況について、地区の皆様にお知らせをいたします。

保護者説明会

４月15日から５月10日にかけて、大栄地区の各小中学校において保護者説明会を開催し、延べ約340名の方が参加されました。説明会では各担当課長から「準備委員会の進捗状況等について」や「大栄地区小中一体型校舎の建設について」、「義務教育学校の人事及び免許関係について」、「教育課程、スクールバス、生徒指導、行事・交流活動について」の説明を行い、参加者からは通学路やスクールバス、部活等についての質問が出されました。教育委員会からは、「下総みどり学園の事例を参考にしつつ、詳細については、今後準備委員会や専門部会等で検討していく」旨の回答をさせていただいております。

第３回準備委員会（８月８日）

校章案について協議

大栄中学校の美術部で作成していただいた校章案６案（裏面に掲載してあります。）について協議を行い、デザイン①（スイングバイ①）、デザイン⑤（スイングバイ・階段の合成）、デザイン⑥（サツマイモの葉）の３案に絞り込みを行いました。

今後は、各委員がこの３案を持ち帰って再度検討をし、次回の準備委員会で校章案を１つに絞り込む予定となっております。

また、色合いや文字をどうするか等については、ベースとなるデザインを決定した後に、再度、美術部の協力をいただきながら協議を行ってまいります。

なお、協議の過程では、デザイン①とデザイン⑥が良いという意見が多く、一方デザイン④については類似商標が存在することから、協議の過程で候補から外れました。

また、準備委員会では校章の協議のほかにも、各専門部会の活動についても報告を受け、開校年度に向けて、必要な作業及びスケジュールについての説明がありました。なお、制服については、第２回準備委員会において生徒指導部会から報告がありましたように、年内にアンケートを実施した上で、次回の準備委員会で協議を行う予定となっております。

平成29年度
準備委員会のメンバー(敬称略)

◎加藤　智明（津富浦学区）※委員長
　石田　広子（大須賀学区）
○平野　幸一（桜田学区）※副委員長
　菅澤　文男（前林学区）
　山岡　隆幸（川上学区）
　玉井　實（区長会長）
　飯嶋　孝（青少年健全育成協議会会長）
　鈴木　昭夫（青少年相談員地区会長）
　長島　順子（大栄中 PTA 代表）
　濱田　静（大須賀小 PTA 顧問）
　山﨑　和恵（桜田小 PTA 代表）
　椎名　功（前林小 PTA 会長）
　椎名　功（津富浦小 PTA 代表）
　秋間　香枝子（川上小 PTA 会長）
　野田　武志（大栄幼稚園 PTA 代表）
　玉﨑　美佐子（大栄保育園保護者代表）
　渡邊　邦明（大栄中校長）
○斎藤　多賀子（大須賀小校長）※副委員長
　三村　洋一（大栄中教頭）
　塚本　武（大須賀小教頭）
　小山田　貴久男（桜田小教頭）
　宮崎　敏和（前林小教頭）
　人見　清悦（津富浦小教頭）
　佐藤　悦子（川上小教頭）
　秋山　忍（市議会議員）※顧問
　福島　浩一（市議会議員）※顧問

校　章　案

大栄中学校美術部から校章案として６つのデザインを考えていただきました。また、校章案については、■「新しく生まれる学校だから、今までにないような校章にしたい。」■「オーソドックスでない左右対称ではないデザインにしたい。」のデザインコンセプトのもと、作成をしてくれました。【★印が第３回準備委員会で絞り込んだ３案】

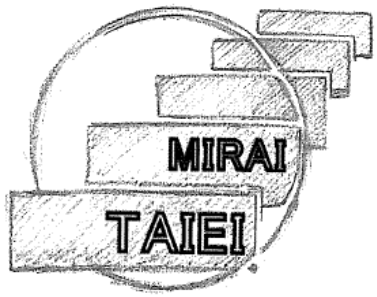
★デザイン①（スイングバイ①）

- 惑星の引力を利用し、人工衛星をより遠くへ飛ばす技術（スイングバイ）を図案化した（この学校で学んだことをエネルギーにスピードを上げて「みらい」に飛び立つイメージ）。
- 小さな５つの丸は５学区を表す。

デザイン②（スイングバイ②）

- スイングバイのデザインをさらに単純化した形。

デザイン③（階段①）



- ５学区を意味する５段の階段を図案化。
  （「みらい」に向かって一歩一歩階段をのぼって行こう）

デザイン④（階段②）

- １年生から９年生までを９段の階段で表現。
  （それぞれの学年から吹き上がるエネルギーが一つの方向へ向かっていく）

★デザイン⑤（スイングバイ・階段の合成）

- スイングバイと階段のイメージを合わせたデザイン。

★デザイン⑥（サツマイモの葉）

- 地域の特産であるサツマイモの葉を図案化。
- 葉脈の６つのブロックは小学校５校と中学校１校を合わせた数。
- 左右対称ではあるが、一見ハートに見えるので、児童生徒には受け入れやすいかもしれない。
- 鋳型作成や制服のエンブレム作成にも使いやすいデザイン。

大栄中学校美術部の皆さんには、素晴らしい校章デザインを考えていただき有難うございました。
各案とも、大栄みらい学園に対する「思い」等が図案化された独創的なデザインとなっております。
甲乙つけがたく、１つに絞り込むのが難しい面もございますが、一生懸命作成してくれた美術部の皆さんの思いを無駄にしないよう、多角的な視点で判断し、大栄みらい学園の顔となる校章のベースデザインを選定したいと考えております。

教育委員会事務局：TEL0476-20-1580